

「つるぎ ほれほれユンボ」～遊びながら、建設の仕事を体験しよう！～

重機ラジコン体験 イベント 企画書



企画・運営：有限会社三歩一建設

〔企画概要/コンセプト〕

本物そっくりの 重機ラジコンで体験！

本物の重機をリアルに再現した
「重機ラジコン」を使用。

子どもたちが「掘る・すくう・運ぶ」
に挑戦し、「できた！」「もっとやってみたい！」
という発見につなげます。



A young boy with dark hair, wearing a light grey t-shirt, is sitting on the sand and playing with a yellow toy excavator. He is looking down at the toy with a focused expression. The background is a blurred outdoor setting with trees and a fence. The text is overlaid on the left side of the image.

遊びが、未来の仕事につながる。

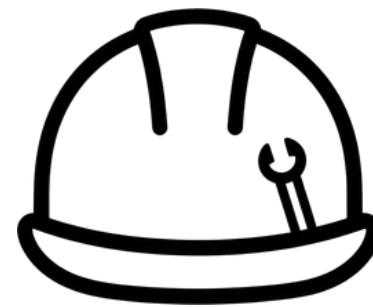
機械を動かす楽しさ
ものをつくる楽しさ
建設の仕事への興味
「自分にもできた」という自信

【企画の目的】



建設業を 身近に

重機や建設の仕事を体験を通じて
身近に感じてもらい、建設業への
興味・関心を育む。



「好き」を 見つける

子どもの「好き」や得意なことを
見つける機会をつくり、自己発見
につなげる。



未来への つながり

「できた！」という達成感と自信
を育み、建設業の担い手育成・将
来の職業選択につなげる。

〔 重機ラジコン操作体験 〕

- ✓ ショベルカーで砂を掘る
- ✓ バケットですくい、ダンプへ積み込む
- ✓ 木のボールや宝箱を運び、指定された場所へ移動する



本物の重機をリアルに再現した「重機ラジコン」を使って、子どもたちが「掘る・すくう・運ぶ」に挑戦します。
ミッションをクリアするたびに「できた！」という達成感が生まれ、建設の仕事への興味や自信につながります。

【イベントメニュー例】

メニュー	所要時間	料金
小さい重機 ラジコン	7分	800円
大きい重機 ラジコン	7分	1,000円
宝探しチャ レンジ	7分	1,500円

【使用設備】

- **重機ラジコン** 約20～25台を用意。本物の重機をリアルに再現したラジコンで、ショベルカーなど複数種類を展開。
- **体験スペース** 体験スペース約3m、砂約200kgを使用。操作用コントローラー、コース・仕切りを設置。
- **その他設備** 宝探し用アイテム・景品、受付スペースを完備。安全に体験できる環境を整え、スムーズな運営を実現します。

対象と実施できる場面

主な対象

幼児～大人

参加形式

親子で参加でき、年齢に合わせて体験内容を調整

地域イベント

地域のお祭り・マルシェ、商業施設イベント、自治体イベント

学校行事

学校・PTA行事、子ども会

体験学習

職業体験イベント、出前授業

運営

有限会社三歩一建設



〔 出前授業への活用 〕



※イメージ画像

遊びと学びを 組み合わせた学校向け展開

参加人数は10～30名程度。

3～5名のグループに分かれ、一人約5分ずつ重機ラジコンを操作。建設業や本物の重機について学び、将来の仕事について考えるきっかけを提供します。

【出前授業の流れ】

- | | | | |
|---|-----------------|-----|--------------------------------|
| ① | 建設業について知る | 導入 | 建設業の役割や仕事内容について、わかりやすく紹介・説明する |
| ② | 本物の重機について学ぶ | 学習 | 実際に使われている重機の種類や仕組み、働きについて学ぶ |
| ③ | 重機ラジコンを操作する | 体験 | グループに分かれ、一人約5分ずつ重機ラジコンの操作に挑戦する |
| ④ | ミッションに挑戦する | 挑戦 | 砂を掘る・すくう・運ぶなど、設定されたミッションをクリアする |
| ⑤ | 「できた！」を体験する | 達成 | ミッション達成の喜びと「自分にもできた！」という自信を感じる |
| ⑥ | 建設の仕事や将来について考える | まとめ | 体験を振り返り、建設業や将来の仕事について自由に話し合う |

期待できる効果

01

子ども

機械操作・集中力・考える力・達成感を体験

02

保護者

新しい興味や得意分野を発見するきっかけに

03

建設業界

イメージアップと将来の担い手育成につながる

04

地域

地域企業と子どもたちの接点を創出する

〔 運営体制と安全対策 〕

- ✓ スタッフ5～6名体制、最大来場想定約150名に対応
- ✓ 受付・操作説明・安全管理・ラジコン管理を役割分担
- ✓ 体験スペースと観覧スペースを明確に区分し安全を確保

① 安全対策として、事前の機器点検・整備を徹底するとともに、体験エリアへの接触防止柵を設置します。砂の飛散防止対策を講じ、同時体験人数を制限することで、子どもたちが安心して楽しめる環境を整えます。

[メッセージ]

「体験」から 「未来」へ

「建設業に入りなさい」と伝えるのではなく、まず触れて、遊んで、楽しんでもらう。

「楽しい」「好き」「もっとやりたい」という気持ちを大切に今日の小さな体験が、いつか「建設の仕事をしてみたい」と思うきっかけになると信じています。

つるぎ ほれほれユニボ

遊びながら、
建設を知る。

「できた！」が未来につながる。
遊んで、触れて、楽しんでもらう体験を。



有限会社

三歩一建設

[企画・運営] 有限会社三歩一建設

[イベント名] つるぎ ほれほれユニボ

[お問い合わせ] URL : <https://sanbuichi.jp/>

